

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒  
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

北アルプス 燕岳－奇岩のオブジェ林立－



燕岳本峰(イルカ岩付近から)



イルカ岩



メガネ岩

9月上旬、北アルプス・燕岳(2763m)に出かけた。第1日目は中房温泉から燕岳に登り燕山荘泊、2日目は大天井岳を越えて常念小屋泊、3日目に常念岳、蝶ヶ岳に登って横尾山荘に下りる日程である。

深夜バスを利用して早朝、穂高駅到着。穂高駅前から燕岳の登山口・中房温泉へは乗合タクシーが出ている。しっかり5人詰め合わせて乗ったおかげで1人1500円余で済んだ。朝食の間、次から次とタクシーが客を運んで来る。さすが燕岳は北アルプス屈指の人気の山である。

午前6時出発。ここから始まる合戦尾根は北アルプスの三大急登の一つとかで、確かにツガ、シラビソなどの樹林の中を、最初から急登が延々と続く。6時半第一ベンチ。7時第二ベンチ。7時半第三ベンチ。8時富士見ベンチ。8時40分ようやく合戦小屋に到着し一息ついた。多くの登山客が、小屋前のベンチで西瓜にかぶりついている。一切れ500円のぜいたくな西瓜である。

小屋から最後の急登を頑張ると間もなく、合戦ノ頭に飛び出た。樹林帯が終わり視界が開けて、目指す燕山荘と燕岳山頂が

目と鼻の先に見える。傾斜も緩くなり、

足元にはハクサンイチゲなどの花々が出迎えてくれた。

10時燕山荘到着。今夜の宿泊を申し込み一休みした後、軽装で燕岳山頂に向かった。山頂に続く白砂を敷いたような道の両側には、緑のハイマツの間を縫って白い花崗岩が造る

色々な形のオブジェが林立し、あたかもシュールレアリズムの美術館にでも迷い込んだかのような、よその山には見られない不思議な光景が展開する。

3～4人がやっと立てる程度の狭い山頂からの眺めは抜群。槍・穂高、裏銀座の山々、遠く後立山連峰までが一望出来た。山頂往復約1時間。

夕方、暮れなずむ北アルプスの山々を眺めながら、ビール片手に燕山荘の語らいは尽きない。そんな折り、山荘主人・赤沼氏によるアルペンホルン演奏を聞く幸運にも巡り合えた。



白砂青松と奇岩林立の路



燕岳山頂から望む槍ヶ岳